

第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

- 日時 平成29年3月31日（金）午後3時
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

進行：伊藤会長

2 報告

説明：企画課今井

（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会施設見学について

説明要旨	
<p>（（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会施設見学報告書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月11日（土）に名寄市民文化センター、土別市民文化センター、たかすメロディーホールの施設見学を行い、10名の委員が参加しました。 ・ 別紙1には、各施設の主な特徴や担当者からの助言をまとめ、見学風景などの写真を添付している。（P1～15） ・ 別紙2は、委員に各施設の内容を評価していただき、その意見をまとめたものである。（P1～7） ・ 委員自らメジャーを持参し、座席の幅を計測したり、カメラで撮影したりと、積極的に見学をしていただいた。 <p>（資料1 （仮称）えんがる町民センター建設検討協議会施設見学の総評【資料1】）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員が3つの施設の評価をした結果をもとに、理想とするホールのイメージとしてまとめたもの。 ・ 11の項目について、評価結果の良い部分をまとめており、町民センターがこれら全ての項目を踏まえて建設できるに越したことはないが、最大限これらの意見を踏まえながら設計することが、理想の施設建設に繋がるものとする。この内容について、修正や追加の意見をいただきたい。 	

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	この中に付け加えたいものなどあれば、意見ををお願いします。
本間委員	訪問した時はわからなかったのですが、3つの施設ともソーラーパネルはついていなかったですね。ホールの電気代などを考えた時に、費用対効果や環境のことは直接関係ないかもしれませんが、検討材料になるのではないのでしょうか。最近の施設は、設置する傾向にあると思います。
事務局	整備方針の部分で維持管理については、省エネや新エネルギーの導入を積極的に進めていくという考えを持っています。実施設計に向けて、コンサルにも指導いただきながら、盛り込んでいきたいと思います。文言として入れるとすれば、11その他の部分になるかと思っています。
村上委員	4の大ホールで、緞帳を設置しないとありますが、どのような理由からでし

	ようか。
横田委員	緞帳はあっても、ほとんど利用されていないことが多いようです。
高桑委員	<p>補足になりますが、最近の音楽ホールは緞帳がなく、幕が前に1枚、中央に1枚というところが多いようです。前の幕はスクリーンとしても利用が可能で、出演団体の紹介などができるし、その奥では準備の作業ができます。また、緞帳はすごくお金がかかるので、それよりも幕の方が照明で色をつけることもできるので良いと思います。</p> <p>また、名寄では舞台袖が少なく、担当者からは、これからつくるのであれば広い方が良いという助言がありました。</p> <p>反響板は天井から吊っていましたが、最近の音楽ホールでは見ないような気がするし、危険なので固定式か移動できるような反響板が良いのではないのでしょうか。ワイヤーのメンテナンスも大変だと聞いています。</p>
伊藤会長	緞帳があったのは2か所。もしかすると、緞帳を寄付したいという方がいるかもしれない。その場合どうするか、受けませんよとはならないのではないのでしょうか。
本田委員	最初から緞帳を設置しない設計にすれば良いと思います。
伊藤会長	「寄付は受けますよ」という気持ちがあっても良いような気がします。
秋田委員	寄付を受けるのであれば、そのような設計にしなければなりません。
伊藤会長	それほど影響することではないようですが。
大西委員	<p>先ほどの反響板の話ですが、反響板を固定してしまうと幕ができず、幕がないと舞台袖が見えてしまい、結果的に音楽専用になってしまうと思います。ですから、反響板をワイヤーで吊ることは、避けられないのではないのでしょうか。</p> <p>北見の芸文ホールは音楽専用ということですが、遠軽は多種目となります。</p>
高桑委員	天井の反響板を含めて、考えればなりません。
本田委員	11の各室防音に配慮するとありますが、全部の部屋なのか、ロックや太鼓の部屋についてということでしょうか。
大西委員	できるだけ多くした方がいいと思います。他にも利用はできると思います。町民のための施設ですし、吹奏楽や音を伴うサークルも多いですから、初期投資がかかっても、いろいろな大きさの部屋をできるだけ防音にしておくと思います。
村上委員	防音の話ですが、それにもレベルがあって、バンドや太鼓とコーラスでは違ってきます。太鼓は相当な防音にしないとイケないですね。
大西委員	そのあたりはプロの仕事になると思います。それにより稼働率のアップにも繋がると思います。町民が等しく使えるものにしてほしいです。
高桑委員	例えば太鼓の場合だと、使う曜日や時間も決まってくると思うので、使っていく中で他の利用者と調整して行けば良いのではないのでしょうか。
平間委員 (代理)	太鼓をやる側としては、防音にしていただけると、すごくありがたいです。
本田委員	ダンスも大音量で踊るので、良いと思います。
伊藤会長	それぞれ意見が出ましたので、整理して改めて資料にしたいと思います。

3 議題

説明：企画課今井

(1) メインホールの規模等について

資料 大ホール客席検討図

全国のホール 1990～2016年の総席数、椅子巾、前後間隔（抜粋）

説明要旨
<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前回の会議では、本田委員から個別に協議した結果について報告いただき、コンサルタントからは客席検討図を基に、600席又は800席の場合のホールの残響時間や容積などについて説明がありました。3月11日に実施した施設見学の際にも、実際にホールの大きさを見ていただき、担当者の説明などから、徐々にイメージも固まってきたのではと思います。・ 前回配布した図面に加えて、今回新たにコンサルタントに作っていただいた図面をお配りする。 <p>(コンサルタント)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 先般の施設見学に参加し、勉強させていただいた。その際に大きな話題となった大ホールの椅子の幅や間隔について、参考として全国の1990年から2016年に建てられたホールについての資料を添付している。・ 椅子の幅については、古い年代のものは大体50cm程度が主流で、最近では52cmや54cmというところもある。名寄は52cmとなっている。・ 席の前後の間隔は、短いところでは91cm、一般的には95cm程度となっている。名寄も95cmだが、施設の担当者からはあと5cmあると良かったと聞いている。・ 図面については、プロポーザルで提案した図面をベースに、建物の規模を変えずに、大ホールのみ図面となっている。・ 当初は幅50cm、前後間隔95cmとしていたが、施設見学の成果を踏まえて、今回の提案図面は幅52cm、前後間隔100cmと見直している。また、大ホールの幅24mは変えずに、両側の立見席をやめて幅52cmであれば何席取れるのかという図面になっている。・ 大ホールの椅子の配置については、災害時や火災時の避難の規定が道の条例で定められており、横に並べられる席数や通路の数などを反映している。・ 舞台袖や間口も名寄に比べて広くとっており、吹奏楽の大編成でも利用できる大きさとしているので、合格点がいただけるのではと考えている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 座席の幅と前後間隔の話がありましたが、実際にこの場でそれがどういったイメージなのか、見ていただきたい。設置した椅子は、肘掛の内側で50cm。前後間隔が100cm。・ 実際に佐藤委員に座っていただき、今井主幹が前を通ってみるが、足をよけることもなく、特に支障はない。逆に今井主幹（身長179cm）が座り、佐藤委員が前を通っても、支障はない。・ また座席の前後は互い違いになっているため、前列に体の大きな方が座っていても、視界は良好である。

【意見】

発言者	内容
本間委員	名寄と同じ幅 52cm ということですが、委員の皆さんの意見の中でも狭く感じたという方がいたので、それよりも広くした方が良いのではないのでしょうか。
コンサル	座席の配置については、色々な角度から詰めなくてはならないと考えています。幅についてのご指摘はそのとおりだと思いますが、55cm まではいらないと考えます。
本間委員	肘掛に肘を掛けてしまうと、隣との間隔が狭く感じると思います。
コンサル	メーカーとの交渉をしていかなければなりません、実は標準品の最大の幅は 52cm となっています。それ以上のものについては特注品です。また、鷹栖の椅子もユーカラ織の特注品であり、メンテナンスがとても大変だと聞いています。 皆さんの意見として幅 52cm より広げたいということは受け止めますが、後々のメーカーの対応などについては確認し、皆さんに伺いたいと考えています。現在までに分かっていることについては以上です。
高桑委員	椅子の幅は 52cm ですが、椅子は同じで良いので、間隔を広げることはできないのでしょうか。
コンサル	標準品を使ってどのくらい広げられるのかということも、確認いたします。
本間委員	映画館の椅子はゆったりしているが、どれくらいの大きさでしょうか。
コンサル	かなり広いと思います。映画館のように広くする場合についても検討いたします。
高桑委員	2階のバルコニー席はどうでしょうか。
コンサル	600 席の規模でワンスロープ式ではないとなると、階段が必要になり効率が悪くなることと、必ずしもお客様へのサービスにはならないと考えます。
高桑委員	先日、北見の芸文ホールで行われた演奏会では、バルコニー席を使って上手にパフォーマンスをされており、すごく良いと思いました。横幅を狭くしてでも、検討できないのでしょうか。
コンサル	北見の芸文ホールも私たちの設計ですが、バルコニー席については慎重に考えなければなりません。
本田委員	一番後ろの観賞室については、以前、最も聞きやすい位置などについて数字を出していただきましたが、今回の図面はそれが反映されているのでしょうか。
コンサル	観賞室については、より詳しく検討しなければと考えています。ご指摘のとおり、床の高さや細かな検討が進んでおりません。通常であれば最後部には音響調整室が必要となり、図面の観賞室のあたりになるのかと思いますが、ホールの中を見ながら調整するための窓がありますので、目の前が立見席となると、見えないということにもなり得るので、再度、検討した図面を確認いただくことになるかと思えます。
大西委員	以前、遠軽高校の高橋先生から 800 席レベルの空間面積が必要ということで見えましたが、この図面は 800 席の空間の中で 600 席という発想

	の中で設計されているのでしょうか。
本田委員	札幌の Kitara の管理人と話をし、審査員席は舞台から 15mの場所に必ずあると聞きましたが、前回、出していただいた図面では後ろまで 15m以上ありましたので、そこまで広い空間はなくても良いのではないのでしょうか。Kitara の場合は 2階席の一番前の中央が、最も音響が良いとのこと。
コンサル	800 席の件について説明しますと、プロポーザルの要項では固定席 600 に立見席 200 という条件がありましたので、それをこの図面にはめ込んでいます。800 席相当の空間を用意し、それに対して立見席をやめて固定席のみの場合どうなるか計算すると、固定席で車椅子も入れると 670 程度となります。
大西委員	先ほどの椅子の話ですが、佐藤委員が撮ってきた映像を見ますと、3脚で 1セットという形で繋いでいるので、場所によってひじ掛けの数が変わり、不平等になります。
コンサル	色々なメーカーがありますが、大丈夫だと思います。
伊藤会長	高桑委員から北見の芸文ホールと札幌の Kitara のホールについての資料をいただいています。
高桑委員	先ほど北見の芸文ホールの設計をしたという話がありましたが、バルコニー席はやらない方が良いでしょう。
コンサル	そのために階段を作り、いわゆる付属的な施設が増えてしまいます。また、そのことが使いやすいホールになるかどうかということもあり、この規模であれば、バルコニー席は避けた方が良いと考えていますが検討します。
大西委員	芸文ホールやクリスタルホールはどちらかという音楽専用ホールの造りとなっていて、幕などが入ってくるとバルコニー席からは見えにくい位置関係になるのではないのでしょうか。そういう意味でも、なくて良いと思います。
本田委員	色々な方の話を聞いて、町民人口比に対してどのくらいの席数がベストなのかという疑問がありました。吹奏楽の話が多く、吹奏楽専用のホールをつくるのかと言われているので、そこは色々なことができるホールということをちゃんとしておかないと、音楽のことを主に考えていくとなれば、揉めることになるのではないのでしょうか。 また、5年後の町民の人口に対して 600 席というのも、大丈夫なのかという意見も聞いている。600 がベストなのか、直せるのであれば減らしても良いのではないのでしょうか。
大西委員	そういう発想ではなく、このホールで町を活性化させるために、他からも人を呼ぶような意気込みでなければいけません。マイナス思考になっていると思います。
本田委員	マイナス思考というより、皆さんが心配をしています。今日の会議で 600 席と決まるのか、もう少し出し入れするのかというのが、わからない状態です。
本間委員	後々修正があるかもしれませんが、せっかく委員も集まっているので、そういったところはスピーディに決めていった方が良いと思います。
佐藤委員	維持管理や冷暖房、空調関係などを考えたときに、席数そのものよりも容積の問題だと思います。そちらを決めてからピッチなどを含めて、席数を決めて

	いくのが良いのではないのでしょうか。
本間委員	前々回、高橋先生からは800席程度の容積がないと、という話がありましたよね。
佐藤委員	高橋先生は容積が欲しいということだったと思います。
本田委員	それで、Kitaraに行って15mという審査員の位置を聞いたので、どうなのかということですか。
横田委員	ある程度のボリュームがあって、そこに審査員がいるわけであって、ボリュームを小さくしてしまうと、審査員の位置も変わってくると思います。
佐藤委員	容積が8,283m ³ というのは、吹奏乐的にも良いのではないのでしょうか。
本田委員	両サイドは見にくくないのでしょうか。
横田委員	名寄よりもステージの幅が広いので見やすいと思います。席は中央から埋まりますし。
伊藤会長	議論を重ねてきたところですが、この図面では観賞室のことを考えると立見席の状況が変わってくるということです。コンサルタントに伺いたいのですが、この外側については、これ以上の増減はないものなのではないのでしょうか。
コンサル	物事を考える順番としては、縦横のグリッドを引いて必要面積を収めていくという作業になります。ただ、小ホールやリハーサル室などの議論はできていませんので、プロポーザルで提案した全体の規模面積の中で、条件に合ったものを採用し、グリッドの間隔は6mのメッシュをきって、その中に収まるように空間を決めました。これ以上広げるということであれば、グリッドの間隔を6mから6.5mにするだとか、設計を変えることは可能だと思います。ただ、皆様がどのように考えるか、席数の議論などを踏まえて、詳細な検討に入っていきたいと思います。
本田委員	皆さん800席がOKということではないと思いますが、どうでしょうか。
大西委員	800席の空間の中での600席という認識でいます。立見席は消防法に則った中で、両サイドに設けることは可能でしょうか。
コンサル	必ずしも立見席はダメだということではありません。色々なことを詰める必要があります。お手元のA4図面資料では、600の固定席に、両脇と後ろに200の立見席がある図面となっています。これであればいけるということで、プロポーザルで提案させていただきました。 消防法に則った形で、大枠でいけるだろうと認識しています。
井上委員	立見が200ということは、200人は立つということですよ。
本田委員	背が小さい人は見にくいですよ。
本間委員	前回、本田委員と高橋委員で協議いただいて、800席の容量の中で席は600くらいで、空間をしっかりと取りたいという話だったと思います。800の空間の中で、ゆったりしたスペースということを踏まえて3つの施設を見学して、皆さんで椅子のことは見てきました。そういったことで、話が進んできたことと認識しています。その上で、今日は座席の話を皆さんの合意のもと、方向性を出していくということではないのでしょうか。
本田委員	ただ、空間が大きいとランニングコストがかかります。吹奏楽のためだけの

	ホールではないですね。
本間委員	吹奏楽を主体として考えていくという話は出ていましたよね。800の空間で600席という方向で話がまとまったと思うのですが。
高桑委員	この図面の中で、立見はやめて600の固定席というのはどうですか。
本間委員	そのようなイメージを持っています。
佐藤委員	計算してみたのですが、各列2席ずつ少なくすると、座席の幅は52cmから55cmにすることができそうです。それで40席程度少なくなります。また、冷暖房に関してエアカーテンのようなものは導入できないのでしょうか。
コンサル	冷暖房についてもプロポーザルで提案させていただきましたが、昔は部分的な空調が難しかったのですが、今はそういう技術が発達し、極小空調ということでランニングコストを減らすことができます。
	(10分休憩)
伊藤会長	できるだけ今日、大ホールの席数とステージの関係は、決めていきたいと思えます。そうしないと、次の段階に入るのが遅れていきます。この後、建物の配置についても議題に出てきます。皆さんのご意見を伺いたいと思えます。
佐藤委員	大体、今回のこの図面で良いと思えます。座席の幅については、コンサルに確認いただいて、コスト的に変わらないのであれば、52cmから55cmに広げるよう対応してほしいということで良いと思えます。皆さんはいかがでしょう。
大西委員	あとは、吹奏楽の方が満足いくというものを優先することだと思います。
伊藤会長	音響や各部屋の関係は今後の話ということになるかと思えます。座席の数は、今後、ある程度の変更があるのではないのでしょうか。
高桑委員	奥行きが12mとなっていますが、これをあと2m増やすことは可能でしょうか。名寄では奥行きが狭いと言われていて、吹奏楽の利用を考えると狭いと感じました。それがあと2mあればスポットライトを置いたり、余裕ができると思えます。美幌は14mあります。
大西委員	名寄はステージを前に足すと言っていました、それは避けたいですね。
伊藤会長	それは付帯意見としてつけていただいて、観賞室やクロークの関係もありますね。 それでは、座席数とホールの規模については、この案を基本としてよろしいのでしょうか。
	(一同拍手で承認)

(2) 建物の配置について

資料 ・土地利用の比較【資料2】

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> この資料については、施設の配置を遠軽駅側（A案）にするか、ふあーらいと側（B案）にするか比較検討するためのものであり、役場内の検討委員会や議会の各常任委員会にも説明しているものです。 <p>【A案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅側の配置となっており、駐車場は現在のコミュニティ駐車場付近となり、フラットな

駐車場が確保され、なおかつふぁーらいとの駐車場と一体的な管理が可能となります。また、駐車場が建物の南側に位置するため、建物の日陰にならず冬場でも太陽熱で駐車場の雪が溶けやすくなります。

- 想定駐車場台数 160 台（普通車 150 台、車椅子 5 台、バス・搬入車 5 台）
- 通常、大道具の搬入口はステージ側に位置するので、建物の右側にメインホールを配置することで、現状の地盤の高低差を利用して、搬入口を設けることができます。
- 駅側と駐車場側で 2m 程度の高低差があり、駐車場からホールの客席まで段差のないバリアフリーで入ることができます。
- 駐車場については、夏祭りや秋祭りなどのイベントの際、建物の左側の間口を開放することで、屋内と屋外を一体的に利用することが可能となり、イベント時の利便性も高まるものと考えます。

【B案】

- B案の駐車場は旧遠軽中央病院の傾斜地となります。この場合、ふぁーらいとの駐車場と分散管理することとなり、また、建物の北側が駐車場となるため日陰になります。
- 想定駐車場台数 153 台（普通車 145 台、車椅子 3 台、バス・搬入車 5 台）
- 駐車場については、傾斜地であるため岩見通側と駅側に擁壁を設けなければなりません。これによりフラットな駐車場として一体的な利用が可能となりますが、工事費がA案に比べて多大にかかってきます。
- 大道具の搬入口は、平場での建設となるため、スロープを設け、下がった位置に設置する必要があります。

【まとめ】

- 役場内の検討委員会や議会の各常任委員会に説明した結果としては、現地盤の傾斜を有効利用でき、建設コストを抑えることのできるA案がベストという結論に至りました。基本的には、遠軽駅側に建設する方向で調整したいと考えますが、検討協議会の委員の皆様の見解を伺いたい。なお、本日、欠席の平野委員からは、A案が良いのではという意見をいただいています。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	今の説明に対して、何かありますでしょうか。
佐藤委員	直感的に、A案の方がふぁーらいとの利用もしやすい配置と思います。
本田委員	大通南1丁目の商店街の方に聞いても、B案は駐車場に高低差があり危ないと言っていました。A案の方が事故も少なく良いのではということで、全員一致でA案でした。
本間委員	コンサルタントに聞きたいのですが、プロポーザルの提案の際に、第三者的な見方としてどのように考えたのでしょうか。
コンサル	提案したのはA案です。事務局から説明のあった内容と、ほぼ近いかなと思います。
本間委員	イベントを行う上で、A案は利便性が良いと思います。また、駐車場の出入口も2か所あり良いのではないのでしょうか。
本田委員	B案は出入口が1か所で、事故が起こりやすいと思います。

伊藤会長	工事費についても、A案の方が少なくてすみます。建物は傾斜地であることで、具合が良いようです。
佐藤委員	基礎も傾斜をそのまま使うことができますので、A案の方が機能的にも優れていると思います。
高桑委員	自転車を利用する通学生が、駅に自転車を置いていますが、それについては今後どうなるのでしょうか。建物ができると、学生たちの出入りが大変になると思います。
加藤部長	裏側に通路を設けるよう考えています。JRとも敷地の話はしていますし、昨年、災害があったときには、代行バスを通したということもありますので、そういったところも確保したいと考えています。
伊藤会長	それでは、A案でよろしいでしょうか。
	(一同、良いとの声)

(2) その他

- ・地域拠点施設準備室の設置について【参考】

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日から「地域拠点施設準備室」を設置する。 ・ 業務の内容は、(仮称)えんがる町民センターの建設と、ロックバレースキー場の方に建設を計画している遠軽道の駅の整備を進めるために、室を設けた。 ・ 場所については、議会棟に行く渡り廊下の部分にあり、気軽に来ていただきたい。 ・ 地域拠点施設準備室のスタッフは、斉藤室長、今井参事、安西主任、中川原専門員の4人体制。

- ・部会の設置について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回、4月28日(金)開催の第5回検討協議会から、部会に分けて検討を進めたい。 ・ 太田アドバイザーからも意見があり、メインホールのほかにリハーサル室や会議室などのハード面を中心に検討する「施設部会」と、施設の使用料や管理運営方法などのソフト面を検討する「管理部会」という2つの部会に分けて進めていく。 ・ 流れとしては、会議の報告事項を全体で確認した後に、それぞれ部会に分かれて会議をしたり、部会の開催日をそれぞれ分けたり、色々な方法があります。 ・ 後日、改めて連絡する際に、委員の皆様にはどちらの部会に入りたいか、希望を取りたいと考えている。 ・ 検討協議会だよりを2か月に1回発行しているが、今回は広報えんがる5月号に掲載予定である。今日の会議までの流れをまとめ、メインホールの規模や施設の配置など、図面を用いて町民の皆様にお知らせしたいと考えている。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	皆さんの方から、何かありませんか。
本間委員	本日は、施設の配置やホールの規模、席数などがまとまってきて良いと思いますが、岩見通南2丁目の用地の買収については、どのような状況でしょうか。
事務局	用地交渉ができるかどうか、補償費の算出を行ったところです。今後、岩見

	<p>通の対面通行について、公安委員会と話を詰めていく予定であり、その結果をもとに交渉を行う予定であり、その方向性についても皆様には説明するように考えています。</p>
加藤部長	<p>今後の話となりますが、新しく町民センターを建てるにあたって、古くなった施設の廃止も検討していかなければなりません。例えば、総合体育館の横にある青少年会館など、今も使用している方はおりますが古くなっていますので、完成後は町民センターを使っていただいて、古くなった施設は廃止していくということについて、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、現福祉センターは、町民センターが建った後に取り壊しを予定していますが、その跡地をどのように活用していくかということも、今すぐにではありませんが、この検討協議会でもアイデアを出していただければと思います。</p>
伊藤会長	<p>次回の検討協議会は4月28日（金）で、2つの部会を構成して進めていくこととなり、細部に渡って検討していくので、色々な資料を持ち寄りながら、協議をしていただければありがたいと思います。</p>

3 次回の日程について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回会議は、4月28日（金）予定している。 ・ 「施設部会」と「管理部会」の2つの部会に分けて、進めていく。

4 閉会

（午後4時55分閉会）

第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	本 間 克 明	遠軽商工会議所	
委員	横 田 昌 弘	遠軽町文化連盟	
委員	秋 田 博	えんがる商工会	
委員	宮 崎 良 公	遠軽町自治会連絡協議会	副会長
委員	村 上 武 志	えんがる町観光協会	
委員	本 田 ちづ子	遠軽町商店街振興会連合会、ダンス教室 amiφアミ	
委員	藤 江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	井 上 幸 次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平 間 喜 弘 (代理鈴木真吾)	遠軽がんぼう太鼓同好会	
委員	伊 藤 榮 三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	大 西 定 信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川 一 儀	一般公募、連合遠軽	
委員	高 桑 健 次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	佐 藤 登	一般公募	
オブザーバー	小野寺 正 彦	民生部住民生活課長	
オブザーバー	金 沢 一 彦	経済部建設課長	
オブザーバー	井 上 隆 広	経済部建設課係長	
オブザーバー	細 川 伸 之	経済部商工観光課係長	
事務局	加 藤 俊 之	総務部長	
事務局	佐 藤 祐 治	総務部企画課長	
事務局	斉 藤 隆 雄	総務部企画課参事	
事務局	今 井 昌 幸	総務部企画課主幹	
事務局	松 村 圭 悟	総務部企画課係長	
事務局	高 松 慎 司	総務部企画課主任	
事務局	安 西 一 樹	総務部企画課主任	
事務局	中川原 英 明	総務部企画課	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		2名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	29名		

欠席：高橋利明委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）

平野由美子委員（フラスタジオ・UEDA）

橋口理教委員（遠軽青年会議所）